

令和4年度 長野県高等学校総合体育大会

ソフトテニス競技 中信大会報告

池工101年目の新たなスタートを切った2022年、私たちソフトテニス部は新生の加入がない中で7名の現有部員で、5月21日・22日の中信総合体育大会（インターハイ予選）を浅間温泉庭球公園で臨みました。新型コロナウイルス感染が収まらない中で、練習時間制限、他校との練習試合などできずに思い悩んだ3年生、保護者、OBの協力理解を得て前向きに戦うことが出来たと思います。有難うございました。

少子化やクラブ加入者の減少から今年は12校での対戦となりました。4つの予選リーグを経ての決戦、池工は第一試合で穂高商業高校とあたり、第1ペアが2-4で落とすも、第2、第3ペアが4-1で勝利し1勝、第二試合は第1シードの都市大塩尻高校の強豪、3ペアとも一生懸命に戦い一つも勝てませんでした。満足な試合だったかと感じます。順位決定戦では南安曇農業高校には1-2で敗れましたが、松本県ヶ丘高校には2-1で勝ち無事に目標の県大会に進みます。

22日の個人戦、3ペアともしっかり戦い、1ペアは勝ち上がったのち第2シードに敗れましたが10位で県大会に進みます。

今年は、意志の統率に試合着は上下とも赤・・・、昨年度活躍されたエンゼルス大谷選手、今年活躍をされる新庄監督にあやかり赤で意識統一を図りました。皆の努力の成果だと嬉しく思います。

6月4日・5日、浅間温泉庭球公園県大会。「しっかり戦うぞー」

令和4年5月23日
ソフトテニス部顧問